

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

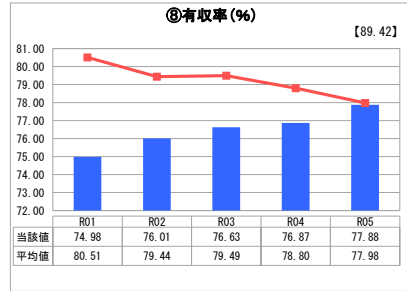
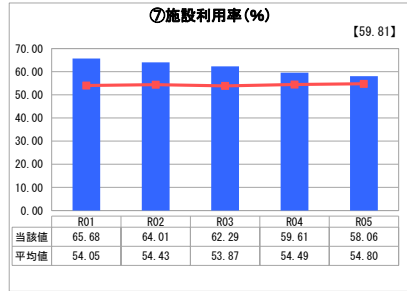
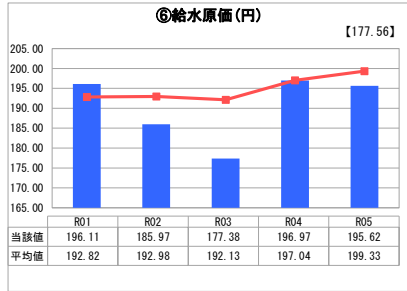
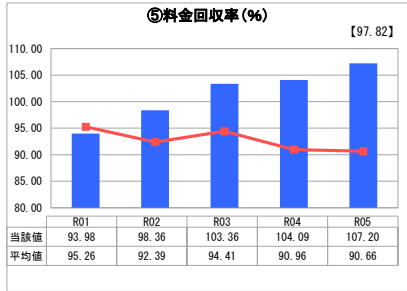
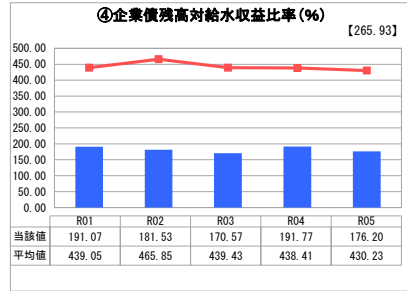
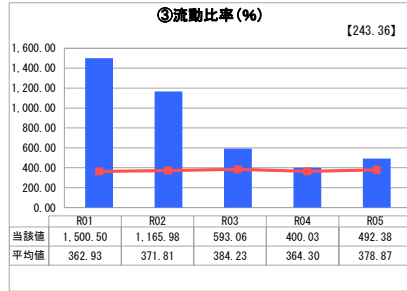
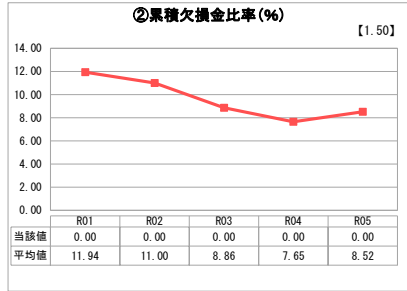
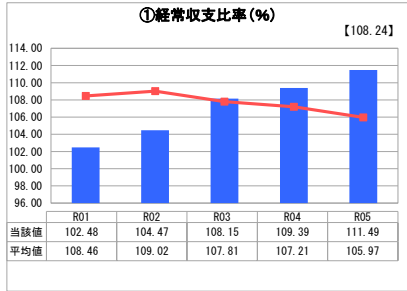
岩手県 雫石町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A7	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家産料金(円)	
-	87.02	85.51	4,042	

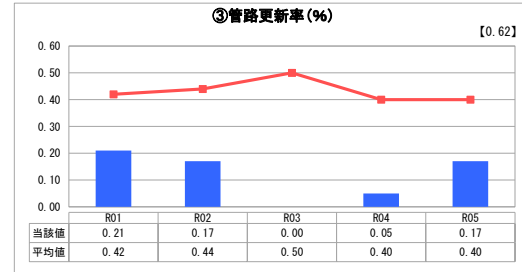
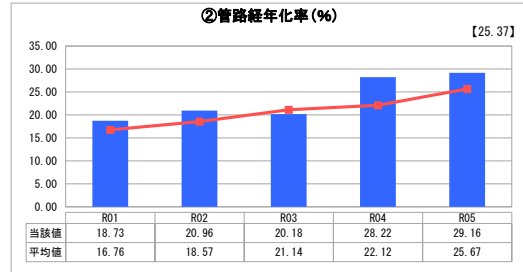
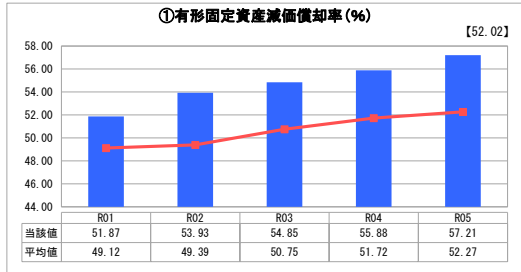
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
15,301	608.82	25.13
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
12,977	91.65	141.59

グラフ例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①経常収支比率は、単年度の収支状況を示す指標で100%以上は黒字経営を示しており、令和5年度は111.49%となりました。健全経営を継続していくため、今後も経営改善の取組を進めます。  
 ②累積欠損金比率は、営業収益に対する累積欠損金の状況を示す指標で、健全経営の継続により0%となっています。  
 ③流動比率は、短期的な債務に対する支払能力を示す指標で、100%以上が望ましいとされ、今年度は492.38%で、十分な支払能力があるとと言えます。  
 ④企業債残高対給水収益比率は、企業債残高の規模を示す指標で、類似団体及び全国平均よりも低い水準で推移しており、順調に企業債償還が進んでいます。  
 ⑤料金回収率は、給水に係る費用が、どの程度給水収益で賄われているかを示す指標です。供給単価と給水原価との関係を見るものであり、100%を下回ると給水に係る費用が給水収益で賄われていないことを表しています。近年は、経営改善の取組もあって100%を超えてきました。  
 ⑥給水原価は、有収水量1m<sup>3</sup>当たりどれだけの費用がかかっているかを表す指標で、類似団体と比較しても大差がない状況です。給水人口の減少などにより有収水量の増加が見込めないことから、引き続き経営改善の取組を実施し費用の抑制に努めていきます。

### 2. 老朽化の状況について

①有形固定資産減価償却率は、償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、資産の老朽化度を示しています。類似団体及び全国平均より若干高い数値になっており、法定耐用年数に近い資産が多く老朽化が進んでいることが読み取れます。  
 ②管路経年化率は、法定耐用年数を超えた管路延長の割合を表す指標で、管路の老朽化度を示しています。耐震・漏水対策等で管路の更新を進めていますが、依然経年化率が高い水準で推移しており、計画的に管路更新を進めていく必要があります。  
 ③管路更新率は、当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標で、管路の更新ペースや状況を把握できる指標です。類似団体及び全国平均と比較して低い状況が続いており、更新費用の確保に努めていく必要があります。

### 全体総括

経営の健全性については、類似団体と比較して概ね良好な数値であり、健全性が保たれていると考えます。  
 しかしながら、固定資産の経年化が進んでいるため、施設や管路等の計画的かつ効率的な更新整備を行う必要があります。また、有収率の改善や漏水対策への取組も進める必要があることから、令和3年度2月に策定した水道ビジョン及び経営戦略に基づき、安定経営に向けた各種取組を進めます。